

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体				
南区防災活動支援事業				南区役所 自治推進課				
事業目的		事業内容		活動指標		R2	R3	R4
近年多発する自然災害に備えて、地域における防災力強化に向けた取組を行うことにより、地域防災力向上を図る。		①校区自主防災訓練や出前講座等の機会を通じて、防災意識醸成のための啓発活動を行う。 ②南区役所、各関係部署、関係機関及び自治会が連携して、要配慮者の受入を想定した「要配慮者に対する避難所運営訓練」を行い、要配慮者が避難する際の課題を整理・共有する。		要配慮者に対する避難所運営訓練の各校区(地区)からの参加者数		—	—	50
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性		
○	地域でのさまざまな機会を通じて防災啓発を継続的に行うことは、地域防災力向上に寄与するものと考ええる。 要配慮者を想定した避難所運営訓練を通じて、地域住民とともに課題を整理・共有する取組は、地域防災力向上につながるものと考ええる。	○	要配慮者を想定した避難所運営訓練においては、各関係部署・関係機関・自治会と連携して実施し、課題を整理・共有できた。	◎	要配慮者を想定した避難所運営訓練は、実際の福祉避難所である上神谷支援学校を使用して、各関係部署・関係機関・自治会と連携して実施したもので、連携した他の組織に対してもインパクトのあるものであった。	◎	各関係組織等を一堂に会して実施し、課題を整理・共有することで、個別に実施するより効率的に取組を推進することができた。	
⑤自立発展性		総合評価						
○	今回整理した課題について、各校区(地区)においての取組を把握し、必要に応じて支援を継続していく。また、関係部署等についても、今後の動きを注視していく。	○	避難所運営訓練を通じて、南区役所をはじめ各関係部署・関係機関・自治会と課題の整理・共有できたことは重要であったと考える。それとあわせて、さまざまな機会を通じて防災啓発活動を広く行うことで、地域防災力向上に寄与した。					
今後の方向性(課題、改善提案等)								
拡充 継続 見直し 廃止	本事業の内容も踏まえつつ、実践的な防災知識や実践力を身につけ、自主防災活動をさらに推進していくことで地域防災力の向上につながると考え、各校区(地区)の自主防災活動を支援していく。 また、各校区(地区)を対象とした防災事業を通じて、さらなる地域防災力の向上に寄与する。							